

報道関係各位

件 名 特別展「原市場村秘史 -受け継がれる記録と記憶-」について

1 概要

- ・会期 令和 5 年 10 月 15 日（日）から同年 12 月 10 日（日）まで
- ・会場 飯能市立博物館特別展示室・展示ホール

2 内容

昭和 31（1956）年、原市場村は吾野村、東吾野村とともに飯能市に合併しました。

原市場における発掘調査で発見された埋蔵文化財をみると、縄文時代には人が住み始め、平安時代、中世などの遺物や遺構も出土しており、この地では古くから生活が営まれていたことがわかります。また、江戸・東京で数多く使用された材木「西川材」の生産地であり、その運送経路でもあった原市場は、近世以降大きく発展を遂げ、現在に至っています。

飯能市に合併した東吾野村や名栗村は、郷土史研究会や行政が主体となって『東吾野郷土誌』や『名栗村史』が刊行されましたが、原市場については、こうした郷土史が編さんされることはありませんでした。

そこで本展では、飯能市を構成する一地域である「旧原市場村」に焦点を当て、地域に残された様々な記録と人々の記憶から、歴史や文化をひも解き、その移り変わりについて紹介し、旧原市場村域（大字原市場・下赤工・上赤工・赤沢・唐竹・中藤下郷・中藤中郷・中藤上郷）の今までの歩みを次の世代に語り伝えていくことを目的とします。

会期中は、筏仲間から近代の材木商同業組合への展開についての講演会や、原市場に遺る伝説の地を探訪する現地見学会、担当学芸員による展示解説を実施いたします。

担当者 博物館長 尾崎
連絡先 Tel (042) 972-1414